

高田馬場駅周辺エリアまちづくり協議会（第1回）

議 事 概 要

1 日 時

令和3年1月

2 場 所

書面開催

3 議 事

- (1) 現況・課題について
- (2) まちづくりコンセプト（叩き台）について
- (3) その他（自由意見）

議事に係る資料及び意見回答書を送付し、事務局にて意見を取りまとめた。主な意見は以下のとおり。

(1) 現況・課題について

○障がい者団体の意見を取入れるべき。

○JR 高田馬場駅はホームが狭く駅が混雑しており、特に戸山口の安全性は課題と考える。乗降客が早く駅の外に出ることができるよう、改札口の増設など、この機会に検討してはどうか。

○西武新宿線の開かずの踏切や、補助169号線（早稲田通り）の都市計画により長い間、建築制限を受けている建物があることなど、区民が懸念している諸問題を解決しながら、新しいまちづくりをしていくべき。

(2) まちづくりコンセプト（叩き台）について

○高田馬場が長く持ち続けているまちの遺産、文化を見落とさないようにするべき。

○駅周辺に学生や障がい者が利用できる場を提供するにあたり、ユニバーサルデザインを考慮した叩き台を作成するべき。

(3) その他（自由意見）

- 今回のまちづくり検討が、高田馬場の拠点性の向上や地域課題の解消につながるきっかけとなることに期待する。
- 地権者にとって、経済的なメリットがあるのかを踏まえて理解を得ることが必要ではないか。まちづくり方針を策定する前に、地権者をはじめとした駅周辺にかかわる人々の意向を反映できるように考慮すべき。
- 今回の取り組みにより駅前のまちづくりが進めば、検討エリアとしていない周辺市街地にもその影響が及ぶと思う。そのため、ゆくゆくは周辺市街地のまちづくりについても言及していく必要があるのではないか。
- 高田馬場は障がい者が多く利用する施設が集積する福祉のまちであることから、福祉施設の充実を図るなど、対外的にもっと福祉のまちをアピールすべき。
- 高田馬場をイメージできるランドマークや経済的發展に寄与する集客の目玉、駅から周辺の施設や名所にアクセスできる交通拠点があるとよい。また、耐震化など安全安心なまちづくりも必要ではないか。

以上